

第6回向日市総合計画等外部評価委員会 議事要点録

○ 日 時 平成25年2月13日（水）午後2時から午後3時まで

○ 場 所 向日市役所 第1会議室

○ 出席者

（委員） 中村委員、齋藤委員、香本委員、岡山委員、原田委員

（説明員）

重点施策	担当部局		出席者	
安心・安全な農産物の提供	建設産業部	産業振興課	長谷川課長補佐	藤下再任用職員
農業基盤の整備	建設産業部	産業振興課	長谷川課長補佐	藤下再任用職員

（事務局） 物部市長公室次長兼企画調整課長、安田課長補佐、山田主査、
上野主査

○ 傍聴者 1名

○ 内 容

1 議 題

（1）重点施策評価に係る説明について

事務局から実施目的及び実施方法を説明

（2）重点施策評価（再評価）

①安心・安全な農産物の提供

②農業基盤の整備

（3）重点施策評価の確定

第2～5回委員会で評価した各重点施策の仮判定の確定

2 今後の予定

○意見の要旨

1 議 題

(2) 重点施策評価（再評価）

- ①安心・安全な農産物の提供
- ②農業基盤の整備

担当者：【施策の概要について説明】

委 員：あるとき市を毎週土曜日に開催するという目標であるが、負担等はどうなのか。

担当者：実施されている若手農業者グループは積極的にやっていきたいとのことである。

委 員：学校給食米はどの程度足りていないのか。

担当者：毎年約28トン必要であり、現状では約20トン確保できる見込みであるが、全量確保に向け、努力したい。

委 員：これは農協経由なのか。

担当者：農協経由である。

委 員：米の供給のされ方は決まっているのか。

担当者：京都府の学校給食会が農協系の会社と契約され、向日市も含めた府内の市町村との協議の中で、米の安定供給の視点から地元の米の供給について決められている。

委 員：農業用水路の整備台帳のたたき台はあるのか。

担当者：用水路の図面はできているが、様式は今後作成していく予定である。

委 員：ため池の必要性はどうか。

担当者：農業用水の確保が第一義であり、付随して防災や環境の観点からも必要ではないかと考えている。また、大半の田んぼは洛西用水で賄えるが、用水路よりも高い位置にある田んぼについては水の供給のために、ため池が必要となる。

委 員：農業用水路の整備台帳については早急に作成していただきたい。

【判定（再評価）】

①安心・安全な農産物の提供

委員全員 A

理 由：施策は重要であり、明確な目標が示され、今後もこの事業を進めてもらいたいことから。

②農業基盤の整備

A（1名）、B（3名）

理 由：ため池や農業用水路は農業にとってだけでなく、防災にとっても必要なものであることから、事業の目的・必要性についてしっかりと議論した上で、早急に農業用水路整備台帳の作成を進めもらいたいことから。

(3) 重点施策評価の確定

- ・ まちぐるみごみ減量化の推進

A評価とし、「目標を時代に合わせて定量化すること」を付帯意見としてつける。

- ・ 安心・安全な農産物の提供

再評価で明確な目標が示されたことから、A評価とする。

- ・ 農業基盤の整備

B評価とし、「早急に農業用水路整備台帳の整備を進めること」を付帯意見としてつける。

上記以外の重点施策評価については、第2回～第5回の委員会での仮判定及び判定理由のとおり確定された。

2 今後の予定

重点施策評価の判定と各施策に対する意見を事務局でとりまとめ、委員の皆様にご報告した後、HPで公表する予定である。